



学校だより
3月号

下目黒

Shimomeguro Elementary School

令和8年2月27日
目黒区立下目黒小学校
校長 守屋 大貴



<https://www.meguro.ed.jp/1310005>

今年度の教育活動が終わります 来年度も引き続きよろしく申し上げます

校長 守屋 大貴

いよいよ、今年度最後の1ヶ月を迎えます。6年生は24日の卒業式で本校を巣立ち、1～5年生は25日の修了式で現学年を終えて進級します。今年度も日々様々なことがありました。それらが子供たちの成長の機会や思い出になっていれば幸いです。

子供たちには折に触れて「前向きな鯛」の話をしてきました。子供自身がなりたい自分像・目標を設定し、「～したい(鯛)」に向かって取り組もうという話です。取り組む過程で新たな問いに出会ったり、上手いかなかったりしたときには、変更や修正をして改めて挑戦するというサイクルを、学習でも生活でも大切にしてきました。そして、子供の主体性を大切にする指導にも心掛けました。生涯にわたり能動的に学び続ける自立した学習者に育てるには、目標の設定や主体性は重要です。来年度もこれらの指導を心掛け、子供のよりよい成長に努めたいと思います。

子供の様子や学校評価アンケート等の保護者・地域の方からのご意見等から、来年度の教育活動を検討しています。そのうちいくつかの変更点を以下に紹介します。来年度4月の保護者会等でも改めてお伝えします。

- ・週時程の変更・・・自己選択学習の時間「しめタイム」をお昼の20分間で実施してきましたが、これまでの成果から、時間を1単位時間(40分)に伸ばす方が、さらに力を発揮させられると考え、時間割り内の1時間に組み込むことにしました。最終下校時刻は今年度とほぼ変わりませんが、週時程の変更があります。詳細は後日配布の週時程表をご確認ください。
- ・「チーム下目黒」体制の一層の充実・・・子供が多くの先生に相談できたり、教員が多面的な児童理解やよりよい授業を実践したりするために、全学年の道徳ローテーション授業や低学年の英語活動ローテーション授業、2年生以上の習熟度別算数指導、高学年の一部教科担任制等に取り組んできました。これらに加え、来年度から専科教員の副担任制と理科専科教員を実施し、「チーム下目黒」を一層充実させて教育環境や教育活動を豊かにしていきます。
- ・通知表の総合所見の見直し・・・お子さんの学校生活や学習状況のよりよい評価のあり方や保護者の方への伝え方について、校内で検討してきました。そして、子供たちの生活や学習の様子をより丁寧に詳しく保護者の方に伝えるためには、通知表の所見欄の限られた字数で記述するより、面談を充実させてお伝えした方がより効果的であると考えました。そこで、来年度から通知表の前期総合所見欄の記載をなくし、後期のみとさせていただきます。そして、教員が子供たちと向き合う時間や家庭との連携を充実させる時間、よりよい授業・指導の準備の時間等を増やし、児童理解や業務改善につなげます。夏休みの面談では、日々の学習状況やテスト結果から考えられる成果や課題等を、資料を活用するなどしてお伝えします。

刻々と変化する社会情勢や教育課題等に対応し、今後もよりよい教育のあり方、学校づくりを模索していきます。

今年度も保護者や地域の皆様のご理解とご協力のおかげで教育活動を進めることができました。ありがとうございました。来年度もどうぞよろしくお願いいたします。

朝の登校は、正門を8:10～8:15に通過し、8:20までに教室で支度を済ませて着席する約束になっています。到着に間に合うように自宅を出ていても、実際は間に合っていない子もいるようです。よい生活リズムや習慣を定着させて今年度を終え、来年度もスムーズに始めたいと思いますので、ご家庭でも引き続きお声掛けをお願いします。

体育のマットや算数の教具、一輪車等を、PTA会費のうち学校活動対策費で購入させていただきました。この他にも、5年生の興津自然宿泊体験教室で稲作体験するための大山千枚田オーナー権費用等にも、PTA会費を活用させていただいています。

また、子どもの安全を守るための安全マップ作成や区への報告、あいさつ運動、運動会前日や終了後のテント設置のお声掛けや夏の校庭芝生企画等、学校の教育活動を助けていただいたり保護者の親睦を深めたりするために、PTA役員の方々をはじめ保護者の方々には様々なご協力や活動をしていただきました。ありがとうございました。